

【 2月21日(水) 室蘭民報(朝刊) 14面 】

★ 製鉄室蘭病院で公開健康セミナー



製鉄記念室蘭病院（前田征洋病院長）の「第34回市民公開健康セミナー」が20日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開かれ、市民ら70人が「手とひじの痛み」に関する対応などを学んだ。

同病院の亀田裕亮整形外科医長が解説。痛みの原因として、関節の障害、^{けん}腱の障害、神経の障害に分けて説明した＝写真。

その上で、「長く痛みが続くときは、専門医の診察を受けること」と強調。変形性関節症やテニス肘など、手外科で多く見られる病気の症状や治療法の解説に、市民らは真剣な表情で耳を傾けていた。

（松岡秀宜）